

4月19日に、本校3年生を対象に実施された「全国学力・学習状況調査」について、結果がまとまりました。本調査は、国語・数学・理科の3教科のテストと同時に、家庭での過ごし方や学習時間を問う調査も実施されており、生活習慣と学力との関係など、本校の子どもたちの状況をお伝えします。

総合結果（国語・数学・理科）

国語、数学、理科ともに全国平均を上回る結果となりました。学習確認プログラムでもそうですが、生徒が問題に前向きに向き合い、最後まであきらめないで取り組もうとする姿勢が育まれています。

国語科より

全体的によくできています。

特に、「話すこと・書くこと」に関する問題で高い正答率でした。これからも条件を満たしながら話したり書いたりする学習活動を通して、表現することに慣れればさらに力が伸長すると思われます。

一方で、「表現の技法の名称を書き、同じ表現の技法が使われているものを選択する」という問題では、やや理解が不十分な点が見られました。文章中や詩歌の中で表現技法が出てくるたびに、確かめながら復習をしていきましょう。

数学科より

数学では、4つの領域「数と式」、「図形」、「関数」、「資料の活用」のすべてにおいて、全国平均を上回っています。特に、「数と式」の領域では高く、計算問題や数量の関係を方程式で表す問題等、それぞれの場面における事象を的確に捉えることができています。その一方で、問題形式が記述式となると正答率が下がる傾向があります。判断理由を説明する問題や問題解決の方法を説明する問題等に課題がみられるので、授業の中でも、自分の考えを言語化して表現する学習活動にしっかり取り組みましょう。

理科より

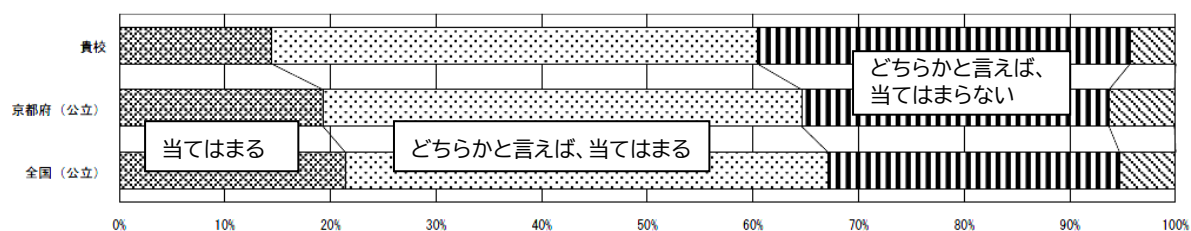
化学反応式に関する問題、生物の観察結果から実験操作を工夫する問題については、高い正答率でした。しかしながら、課題の分析や、日常的な現象を観測したデータを関連付けて分析、解釈する問題に対してやや低い正答率でした。日々の授業で実験をする際は、予想を立てて協議し、実験結果から得られた結果の整理・分析等を実施する学習に取り組ましましょう。また、理科の様々な分野と関連付けながら自分の考えをまとめ、表現する力を伸ばすことを意識しながら多面的、総合的に検討する力を身につけるようにしましょう。

生徒質問紙調査から ①

「毎日、同じくらいの時刻に起きていますか」という質問には90%以上の生徒が肯定的な回答をしており、基本的な生活習慣が身につけていることがわかります。一方で「1日あたりのSNSや動画視聴などの時間」に関する質問では、2時間以上と回答した生徒は60%近くおり、全国平均をやや上回っています。このことは「毎日、同じくらいの時刻に寝ていますか」という質問に肯定的な回答をした生徒は75%で、全国平均を下回ったことにも関連していると思われます。節度を守ってデジタル機器を使用することの大切さを今一度ご家庭でもお話し合いください。

生徒質問紙調査から ②

Q 難しいことでも、失敗をおそれないで挑戦していますか。



本校の生徒は「挑戦心、達成感、自己有用感等」に関する質問に関して、肯定的な回答をする生徒が、全国平均を下回る傾向にあります。他にも、「将来の夢や目標を持っていますか」や「自分でやると決めたことは、やり遂げるようにしていますか」などの問いでは肯定的な回答がやや低めです。子どもたちは、成功体験を繰り返すことで自信を持ち、夢や希望を思い描くことができます。日頃の小さな頑張りが褒めて自信をもたせる必要があると考えます。

全体を通した本校の成果と課題

本校では「人・もの・ときを大切に」を校訓とし、「自立・貢献・夢づくり」という学校教育目標のもと、豊かな心とたくましく生きる力を備え、夢や希望を持って未来社会の創り手となる生徒の育成をめざしています。学力向上の取組に関しては、校区の小学校と全国調査やジョイントプログラム等の学力情報を共有して、日々の指導方法の改善や、個に応じた指導に努めてきました。

生徒たちも落ち着いた学習環境の中で、自らのテストの結果等の成績を振り返り、弱点を繰り返し学習し、自らの進路の実現に向けて意欲的に頑張ってきました。今回の調査からは、生徒たちは着実に学力を伸ばしていることが確認できました。また、普段から学習に前向きに取り組む日々生活していることも明らかになりました。

しかし、生徒質問紙調査②で示したように、本校生徒は挑戦心や達成感、自己有用感等がやや低いという実態も明らかになりました。文部科学省の報告書にもこれらの質問に肯定的な回答をしている生徒の方が平均正答率が高い傾向が見られる、との記述もあります。子どもたちが夢や希望を持ち、自信を持って自己実現を果たせるように、大人と子どもが共に考えなければならないことは言うまでもありません。子どもたちには学校の中だけではなく社会でもいろいろな体験を通してやりがいや達成感を得て、自信を持って生きていけるように、今後も意識して取り組んでいきたいと思ひます。

保護者の皆様へ

全国調査は、子どもたちの学習状況を知り、子どもたちの可能性をさらに伸ばしたり、課題を解決していくためのものです。結果が学力のすべてを表しているのではなく、また順位を競うものでもありません。

学力は、学校・家庭・地域での地道な積み重ねにより定着していくものであり、望ましい生活習慣や日々の学習習慣がその基盤となります。今回の本校の結果を見ると、子どもたちの学力は着実に伸びてきており、ご家庭での子どもに対する積極的な関わりや指導・支援の成果が表れています。引き続き、子どもたちの健やかな育ちと学びの環境づくりにご協力をお願いいたします。